

# 都市再生整備計画 事後評価シート

岩出山地区

平成27年3月

宮城県 大崎市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮城県		市町村名	大崎市		地区名	岩出山地区		面積	121.6ha			
交付期間	平成23年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	430百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路((都)岩出山中央線街路整備事業・市道仲浦小路線他3路線改良事業)、高質空間形成施設(案内板設置事業・照明灯整備)									
			提案事業	地域創造支援事業(バス停設置事業・掲示板整備)、事業活用調査(まちづくり事後評価検討事業)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
交付期間の変更	当初	平成23年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	安全安心な歩行空間に対する満足度	%	6.3	H22	12.4	H26	-	11.6	△	あり ● なし	(都)岩出山中央線や市道の整備、案内板設置、照明灯整備、掲示板整備が確実に進められ、当該整備に関する地元説明会の実施により住民の理解も得られている。なお、今回の評価値から道路整備に対して満足度が向上している傾向にあることは把握できるが、これは類似調査を活用した見込み値である。そのため、今後全ての事業が完了した後に、フォローアップにより従前値と同様の方法により満足度を把握する。	平成27年度内
	指標2	あつたか村へのアクセス時間	分	7	H22	3	H26	-	3	○	あり なし	岩出山総合支所とあつたか村を結ぶ(都)岩出山中央線が整備され、岩出山分院の建設等に併せて岩出山分院前と地域福祉センター前に新規のバス停が設置されたことにより、市営バスの路線も変更されたため、アクセス時間が短縮された。	なし
	指標3	あつたか村線交通量	人/12h	61	H22	79	H26	-	83	○	あり なし	市道仲浦小路線の舗装整備は未竣工であるが、(都)岩出山中央線や他の市道が整備済みであり、あつたか村線における新たな歩行者ネットワークが形成されたとともに、また当該路線における案内板設置や照明灯整備により歩行空間が充実し、福祉拠点施設である岩出山分院へのアクセス性が向上したことにより、歩行者交通量が増加したと考えられる。	平成27年度内
指標4									あり なし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
4)定性的な効果発現状況	あつたか村線の植栽において、地区のボランティア等による維持管理が展開されており、地域間交流が増加している。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	(都)岩出山中央線や市道仲浦小路線等を整備するにあたり、地元に対して、整備目的や計画図面等を説明し意見交換を行った。整備にあたり地区内居住者の意向を把握するとともに、住民への理解を促すことができた。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も地域住民や岩出山総合支所との連携を図りながら、整備後の利用状況について把握し、随時改善の方向性を検討する。					
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

